

## 地域特定課題提案に対する現状

## ○提案の内容 (H29年度 第4回地域振興会議より)

提案委員	田中道春
課題名	袋川河川整備事業について
提案理由	美しい大自然に恵まれた国府町のシンボルの一つともいえる袋川が今や瀕死の状況ともいえる。一刻も早い整備が急がれる。
課題の内容	H22から宮下地区まちづくり協議会が水辺の楽校(宮下広場)の草刈り・清掃作業を続けている。しかしながら、袋川全体からすればごく一部にすぎない。このままの状況を放置していれば、景観を損なうばかりか、雨期の河川の増水とともに、河床が上がり、洪水の危険にさらされる。

## ○現状等

対応	<p>【国土交通省 鳥取河川国道事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中郷橋付近の中州の樹木の状況については、日常的な巡視や点検を通じて認識している。</li> <li>○樹木は一度伐採しても、4・5年たてばまた伸びてしまう。</li> <li>○樹木の伐採は、通常下流側から進めていくので、上流にあたる国府地域は、よけい繁茂の状況が目立ってしまっている。</li> <li>○西日本豪雨の直後は、河川整備の予算が潤沢にあったが、今はそのような事業がなく、予算的に厳しい。</li> <li>○住民が河川内の木を切ることは、許可できる場合もあるので相談して欲しい。</li> </ul> <p>【鳥取県土整備事務所 維持管理課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○河川の管理については、土木監視員が2週間に一度、川の様子を確認している。</li> <li>○岡益橋から上流については比較的川幅が広いので、樹木伐採等の早急な対応が必要とは考えていない。</li> <li>○地元で現在の河川の様子を不安視するような意見があれば、相談をして欲しい。</li> <li>○住民が河川内の木を切ることは問題ない。伐採後、車の寄せ易い場所にまとめて置いてもらえば、県の方で回収する。その際は 回収場所を明示した地図をファックスで送って欲しい。</li> <li>○河川内に自生するヨシ等の植物は、川の流れを阻害するものではない。問題とするならそれらの植物が生えている土砂の部分だが、これも川の断面積の3割を超える場合との基準が決まっている。</li> <li>なお土砂の撤去が堤防の基礎部分に悪い影響を与える場合もあり、安易に撤去とはならない。</li> </ul>
----	---